



すねおりあまごい

脚折雨乞

地域の絆をいまに伝える

国選択無形民俗文化財・市指定無形文化財である「脚折雨乞」は、鶴ヶ島市の脚折地区に伝わる伝統行事で、その歴史は江戸時代にまでさかのぼります。

降雨祈願として干ばつの年に行われていた雨乞行事は、專業農家が減少したことで、昭和39年を最後に一度途絶えてしまいました。しかし、この行事の持つ地域の連帯感などの大切さを伝えようと、脚折地区の住民が「脚折雨乞行事保存会」を結成し、昭和51年に見事に行事が復活。以来、うるう年の8月（夏季オリンピックの開催年）に行われ、鶴ヶ島市民のみならず、多くの人々を魅了してきました。

大迫力!!脚折雨乞は必見

4年に1度姿を見せる巨大な「龍蛇」^{りゅうだ}は、地域の人たちの手によって、竹と麦わらでつくられます。

全長36m、重さ約3tの堂々たる龍蛇は、行事当日「入魂の儀」により龍神となり、約300人の男衆に担がれて、白鬚神社から雷電池^{かんだちがいけ}までの2kmにわたる道のりを練り歩きます。雷電池に着くと池の中へと入り、担ぎ手たちは「雨降れたんじゃく、ここへ懸れ黒雲」と叫んで降雨を願います。祈願を終えると、いよいよ大迫力のクライマックス。担ぎ手が一斉に龍神に飛

び掛かって解体を始めます。これによって龍神の怒りを呼び起こして、雨を降らせると言われています。



▲ 伝統行事を後世に伝えていくための「龍蛇ふる里会館」。ミニ龍蛇などを展示しています。

鶴ヶ島を彩る 伝統・行事



サマーカーニバル

例年
7月開催

鶴ヶ島駅西口商店街通りを歩行者天国にして行われる夏まつり。華やかなサンパレードが通りを練り歩き、鶴ヶ島の夏を盛り上げます。



例年
3月下旬～
4月上旬

桜まつり

市内随一の桜スポット、運動公園で行われる桜まつり。太田ヶ谷沼をぐるりと囲んで200本以上の桜が咲き誇ります。桜まつり期間中はライトアップや様々な催しを実施。桜の季節を多くの来場者が楽しんでいます。



祭礼 天王様

例年
7月開催

7月に行われる八坂神社の祭礼。地域の協力や熱意で祭りの伝統は今も受け継がれ、毎回多くの人で賑わいを見せています。



高倉獅子舞

例年
11月開催

高倉日枝神社では、毎年11月2日と3日に豊作感謝、疫病退散祈願のために獅子舞が奉納されます。市の無形文化財で、江戸時代から続く伝統芸能である高倉獅子舞は、三頭立ての獅子舞でササラ獅子とも呼ばれています。



産業まつり

例年
11月開催

鶴ヶ島の美味しい!楽しい!がたくさん集まるイベントです。各種模擬店や農産物などがずらりと並び、キッズダンスなどのステージイベントが会場を盛り上げます。



高倉菜の花まつり

例年
4月開催

鶴ヶ島の春をカラフルに彩る「高倉菜の花まつり」。桜まつりと並んで、鶴ヶ島の春を代表するイベントです。雄大に空を泳ぐ、色とりどりのこいのぼりと、一面に広がる菜の花の黄色いじゅうたん。3月下旬から5月上旬まで楽しめます。期間中にはイベントも開催され、和太鼓やダンスなどの出し物、模擬店、フリーマーケットなどの出店があります。

